

マックス株式会社

2026年3月期第2四半期(中間期) 決算説明会資料

発表日:2025年10月31日

出席者

代表取締役社長

小川 辰志

専務取締役 上席執行役員

角 芳尋

執行役員 コーポレートコミュニケーション室長

須田 庸夫

目次

2026年3月期第2四半期 全社実績

1. 2026年3月期第2四半期 全社実績
2. 2022～26年3月期第2四半期 全社実績推移
3. 四半期別売上高推移
4. 営業利益の増減要因
5. その他の財務情報
6. 経済指標

2026年3月期第2四半期 セグメント実績

7. 2026年3月期第2四半期 セグメント実績
8. 四半期別セグメント実績推移
9. インダストリアル機器部門 2026年3月期第2四半期実績
10. インダストリアル機器部門 四半期別売上高推移
11. オフィス機器部門 2026年3月期第2四半期実績
12. オフィス機器部門 四半期別売上高推移
13. HCR機器部門 2026年3月期第2四半期実績
14. HCR機器部門 四半期別売上高推移
15. 四半期別海外地域別売上高推移
16. 重点事業:鉄筋結束機事業の概況

2026年3月期 業績予想

17. 2026年3月期 全社計画
18. 2026年3月期 セグメント計画
19. 2026年3月期 サブセグメント(事業別)計画
20. 配当政策 1株当たり配当金
21. 配当政策 配当性向と純資産配当率
22. 統合報告書の発行

参考資料

23. 四半期別海外地域別セグメント売上高推移(北米)
24. 四半期別海外地域別セグメント売上高推移(欧州)
25. 四半期別海外地域別セグメント売上高推移(アジア他)
26. 鉄筋結束機(機械・消耗品) 四半期別数量推移(北米)
27. 鉄筋結束機(機械・消耗品) 四半期別数量推移(欧州)
28. 鉄筋結束機(機械・消耗品) 四半期別数量推移(国内)
29. 機工品事業及びオフィス事業の主な製品
30. 鉄筋結束機事業ラインアップ
31. 国内・海外機工品事業 製品内訳
32. 国内・海外オフィス事業 製品内訳

2026年3月期第2四半期 決算サマリ

- ・ 上期累計で売上高、各利益ともに過去最高を更新。
- ・ 鉄筋結束機を含むコンクリート構造物向け工具の売上高は209億円(前年同期比+19%)。年間計画360億円に対する進捗率は58%と好調。
- ・ 業績の堅調な推移を踏まえ、2025年7月公表の通期計画を上方修正。
- ・ 配当予想を上方修正。前期から18円増配の1株当たり年間配当金132円を予定。

2026年3月期第2四半期 全社実績

2026年3月期第2四半期 全社実績

■為替レート

当期 1ドル 146.20円 / 1ユーロ 166.61円
前期 1ドル 153.93円 / 1ユーロ 166.49円
計画 1ドル 145.17円 / 1ユーロ 158.80円

(単位:百万円、%)

	当期実績	前期実績	増減率	上期計画※	達成率
売上高	48,688	44,881	+8.5	47,400	102.7
売上総利益	24,469	21,650	+13.0	—	—
同率	50.3	48.2		—	
営業利益	9,467	7,416	+27.6	8,600	110.1
同率	19.4	16.5		18.1	
経常利益	9,755	7,150	+36.4	8,600	113.4
同率	20.0	15.9		18.1	
親会社株主に帰属する 中間純利益	7,288	5,453	+33.7	6,500	112.1
同率	15.0	12.2		13.7	
一株当たり中間純利益(円)	159.34	117.22	—	142.15	—

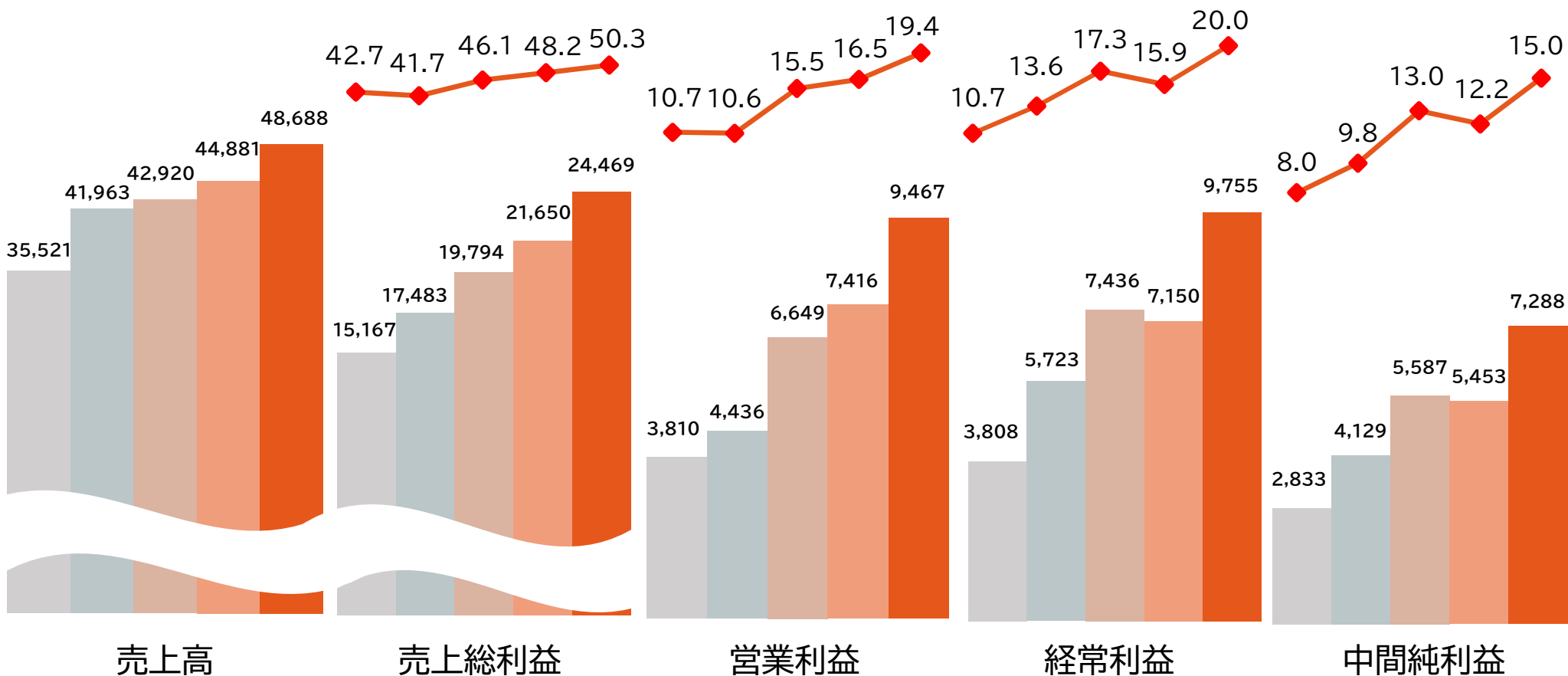
※2025年7月31日修正計画

2022～26年3月期第2四半期 全社実績推移

2

2022年3月期2Q
 2023年3月期2Q
 2024年3月期2Q
 2025年3月期2Q
 2026年3月期2Q
 同率

(単位:百万円、%)

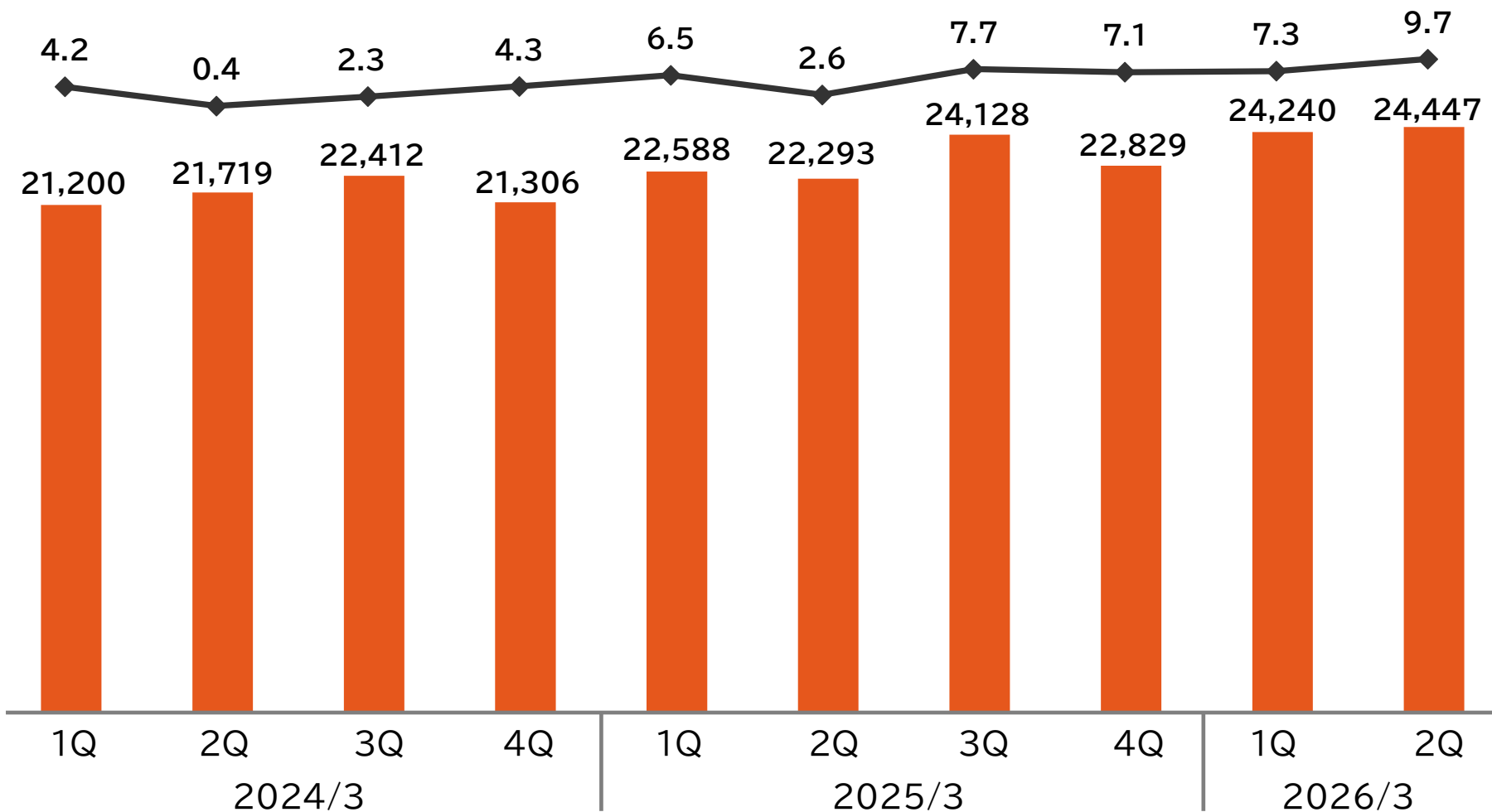


四半期別売上高推移

3

■ 全社 売上高 ◆ 全社 売上高前年同期比伸率

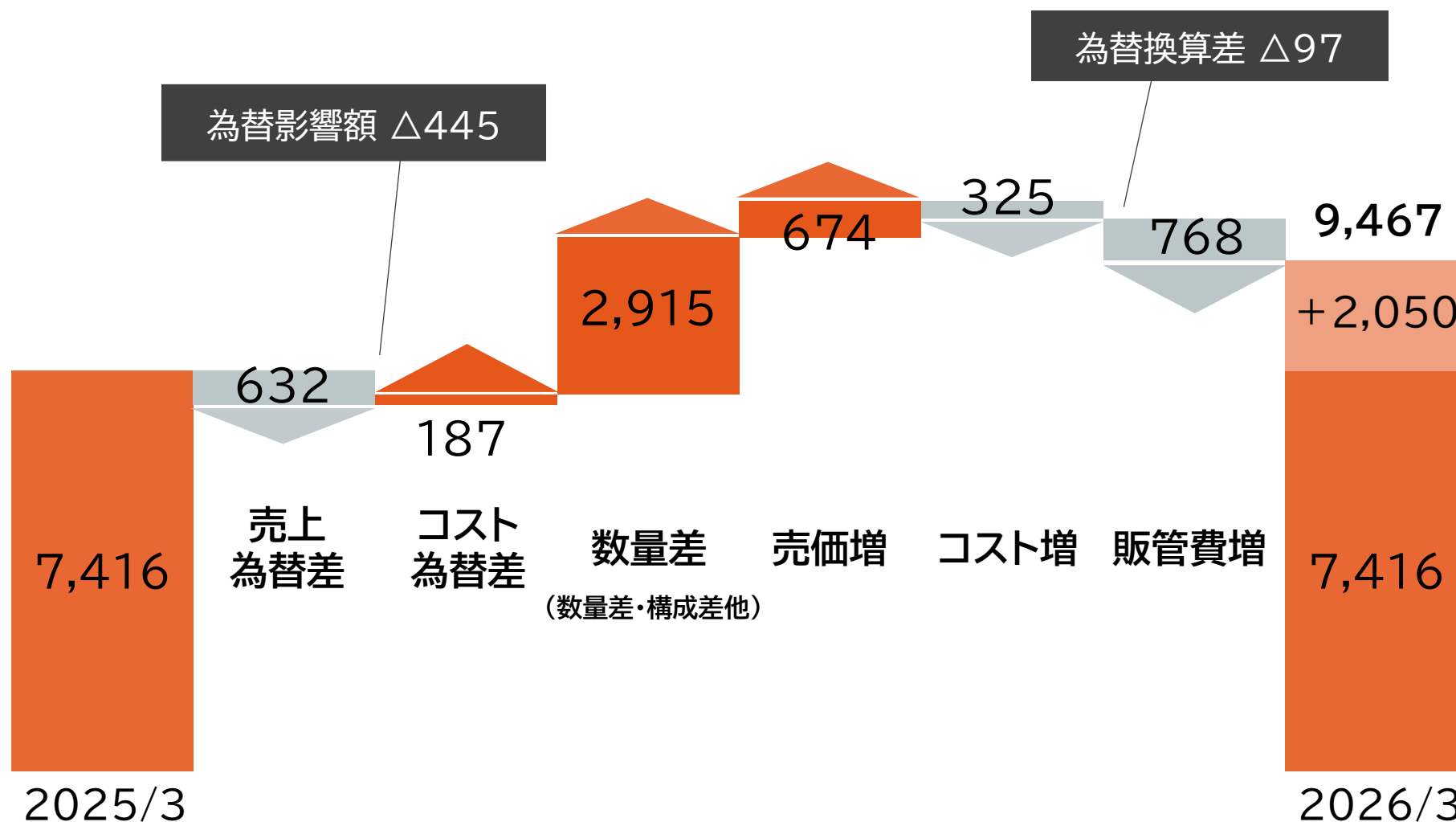
(単位:百万円、%)



営業利益の増減要因

4

(単位:百万円)



■ 営業外収支と特別損益の実績

(単位:百万円)

	当期実績	前期実績	前年差
営業外収支	288	△265	+554
営業外収益(為替除き)	386	336	+49
営業外費用(為替除き)	△40	△32	△7
為替差額	△57	△569	+511
特別損益	182	473	△291
特別利益	201※	479	△278
特別損失	△18	△5	△13

※主に株式の売却益

■ 設備投資、減価償却費、研究開発費の実績

(単位:百万円、%)

	当期実績	前期実績	当期年間計画	進捗率
設備投資	1,372	1,128	4,053	33.9
減価償却費	1,684	1,621	3,782	44.5
研究開発費	2,251	2,146	4,253	52.9

国内

インダストリアル機器部門に関連する新設住宅着工戸数が、3月の駆け込み着工による反動減の影響などで低迷したことに加え、民間非居住建築物の着工床面積も減少しました。

海外

米国は、住宅ローン金利の高止まりや資材価格の上昇などで住宅着工が低調に推移したほか、インフラを中心とする非住宅市場に対する建設投資の伸びが停滞しました。欧州は、金融緩和による企業の投資活動の拡大傾向など、景気の持ち直しの動きが続きました。

■ 参考指標

新設住宅着工戸数

- ・2025年1月～6月は前年比△7.5%
(持家△7.6%、賃貸△4.1%、分譲△12.8%)

→機工品事業(木造系)にマイナス影響

非居住建築物の着工床面積/建設技能労働者需給

- ・2024年10月～2025年3月は前年比△11.5%
(事務所△34.8%、店舗△3.3%、工場△20.2%、倉庫+2.2%)
- ・建設技能労働者 鉄筋工(建築)の需給は、足元で過剰傾向

→機工品事業(コンクリート系)にマイナス影響

為替

- ・1ドル146.20円、1ユーロ166.61円
(前年:1ドル153.93円、1ユーロ166.49円)
- ・売上為替感応度(年間換算)(※2026年3月期 期首計画値)
米ドル200百万円、ユーロ80百万円
- ・営業利益為替感応度(年間換算)(※2026年3月期 期首計画値)
米ドル60百万円、ユーロ80百万円

米国の新設住宅着工戸数

- ・2025年7月の年率換算値は142.9万戸、8月は130.7万戸、
9月 未発表
(前年7月:126.5万戸、8月:139.1万戸、9月:135.7万戸)

2026年3月期第2四半期 セグメント実績

2026年3月期第2四半期 セグメント実績

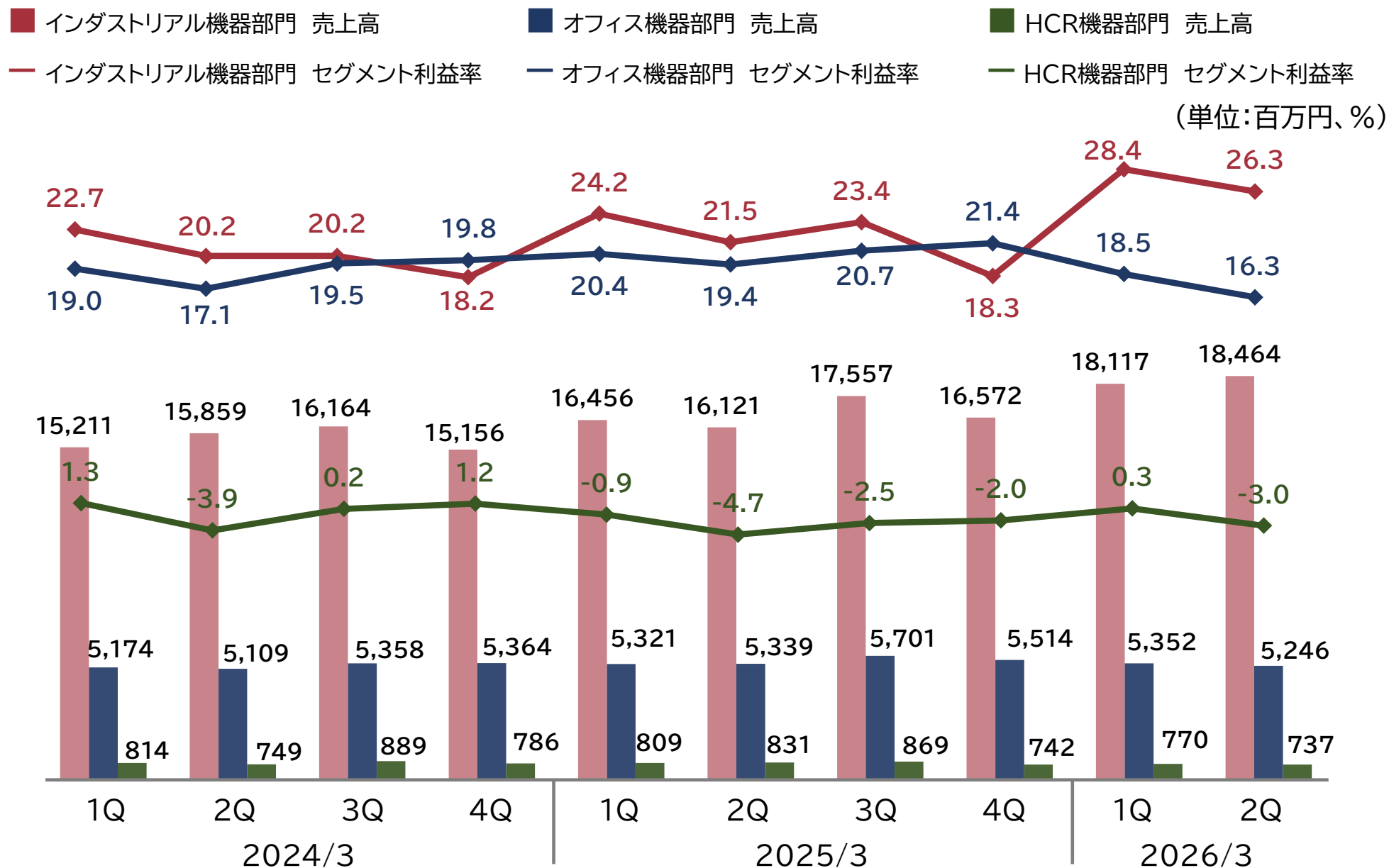
7

(単位:百万円、%)

	当期実績	前期実績	増減率	上期計画※	達成率
インダストリアル機器部門					
売上高	36,581	32,577	+12.3	35,210	103.9
セグメント利益	9,996	7,453	+34.1	9,110	109.7
セグメント利益率	27.3	22.9		25.9	
オフィス機器部門					
売上高	10,599	10,661	△0.6	10,600	100.0
セグメント利益	1,845	2,120	△12.9	1,900	97.2
セグメント利益率	17.4	19.9		17.9	
HCR機器部門					
売上高	1,507	1,641	△8.2	1,590	94.8
セグメント利益	△19	△45	—	10	—
セグメント利益率	△1.3	△2.8		0.6	
調整額	△2,355	△2,111	—	△2,420	—
全社計					
売上高	48,688	44,881	+8.5	47,400	102.7
営業利益	9,467	7,416	+27.6	8,600	110.1
営業利益率	19.4	16.5		18.1	

※2025年7月31日修正計画

四半期別セグメント実績推移

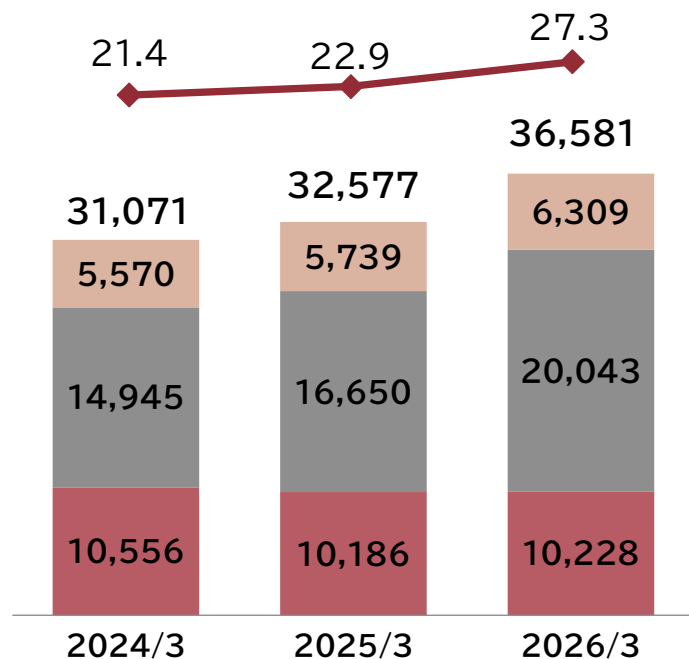


インダストリアル機器部門 2026年3月期第2四半期実績

9

■ 国内機工品事業 ■ 海外機工品事業
■ 住環境機器事業 — セグメント利益率

(単位:百万円、%)



鉄筋結束機「ツインタイア」



メッシュ筋カッタ 新製品

国内機工品事業



建築物の着工床面積の減少など外部環境は厳しかったものの、鉄筋結束機「ツインタイア」新製品の拡販などにより、鉄筋結束機とその消耗品の販売が上期累計では前年並みで推移しました。

海外機工品事業



建設現場における人手不足を背景とした機械化需要の高まりなどにより、欧米で鉄筋結束機とその消耗品の販売が大幅に増加しました。

住環境機器事業



主力の浴室暖房換気乾燥機「ドライファン」の販売が、注力しているリプレイス向け(既設機の置き換え)で増加したほか、一部OEM先向けでも堅調に推移しました。

インダストリアル機器部門 四半期別売上高推移

10

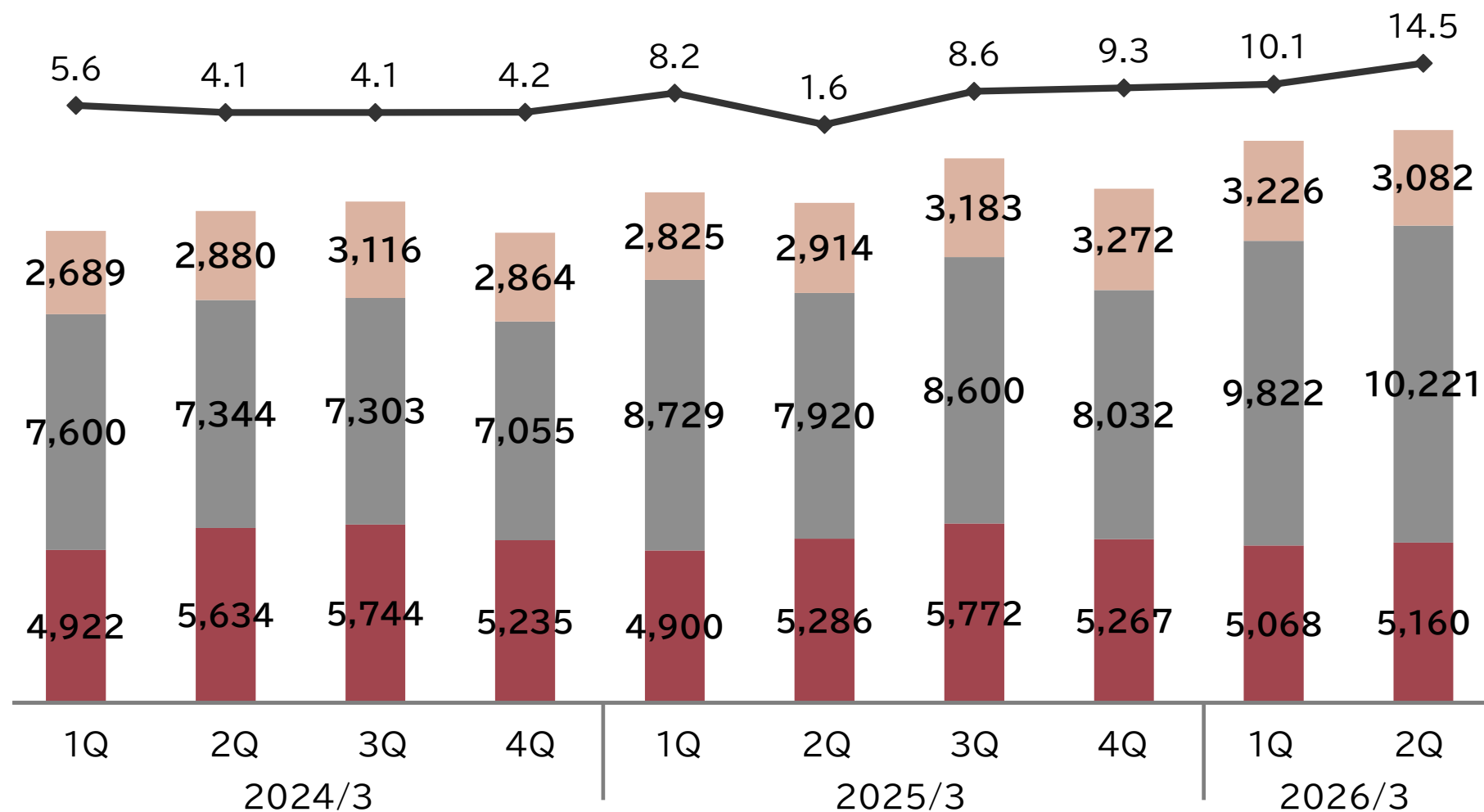
■ 国内機工品事業 売上高

■ 海外機工品事業 売上高

■ 住環境機器事業売上高

— インダストリアル機器部門 売上高前年同期比伸率

(単位:百万円、%)

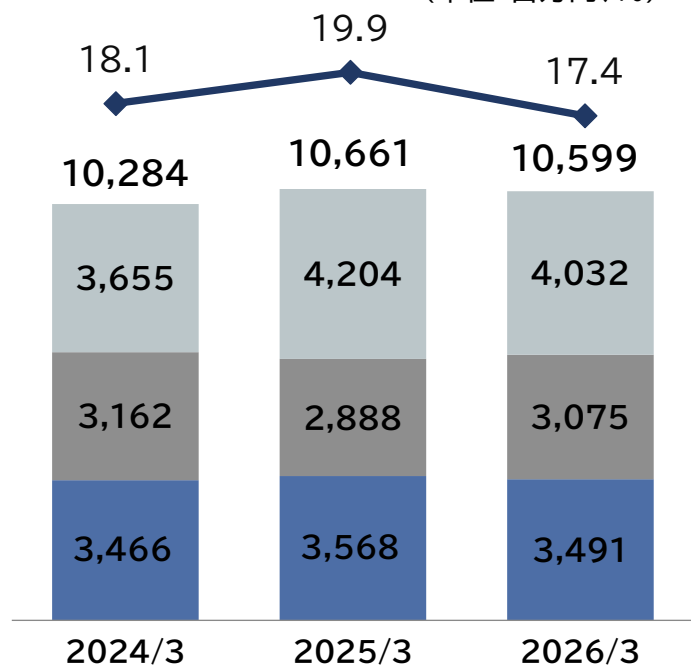


オフィス機器部門 2026年3月期第2四半期実績

11

■ 国内オフィス事業 ■ 海外オフィス事業
■ オートステープラ事業 — セグメント利益率

(単位:百万円、%)



「HD-10G」
グッドデザイン賞受賞



表示作成機「ビーポップ」

国内オフィス事業

- ▶ 文具関連製品の販売が減少したことに加え、一部部品不足の影響により、表示作成機「ビーポップ」の販売が減少しました。

海外オフィス事業

- ▶ 東南アジアを中心とする文具関連製品の販売が回復基調となったほか、欧州における展示会への出展による見込み物件の獲得などにより、表示作成機「ビーポップ」の販売が堅調に推移しました。

オートステープラ事業

- ▶ 取引先からの受注の停滞が継続したことにより、機械と消耗品の販売が減少しました。

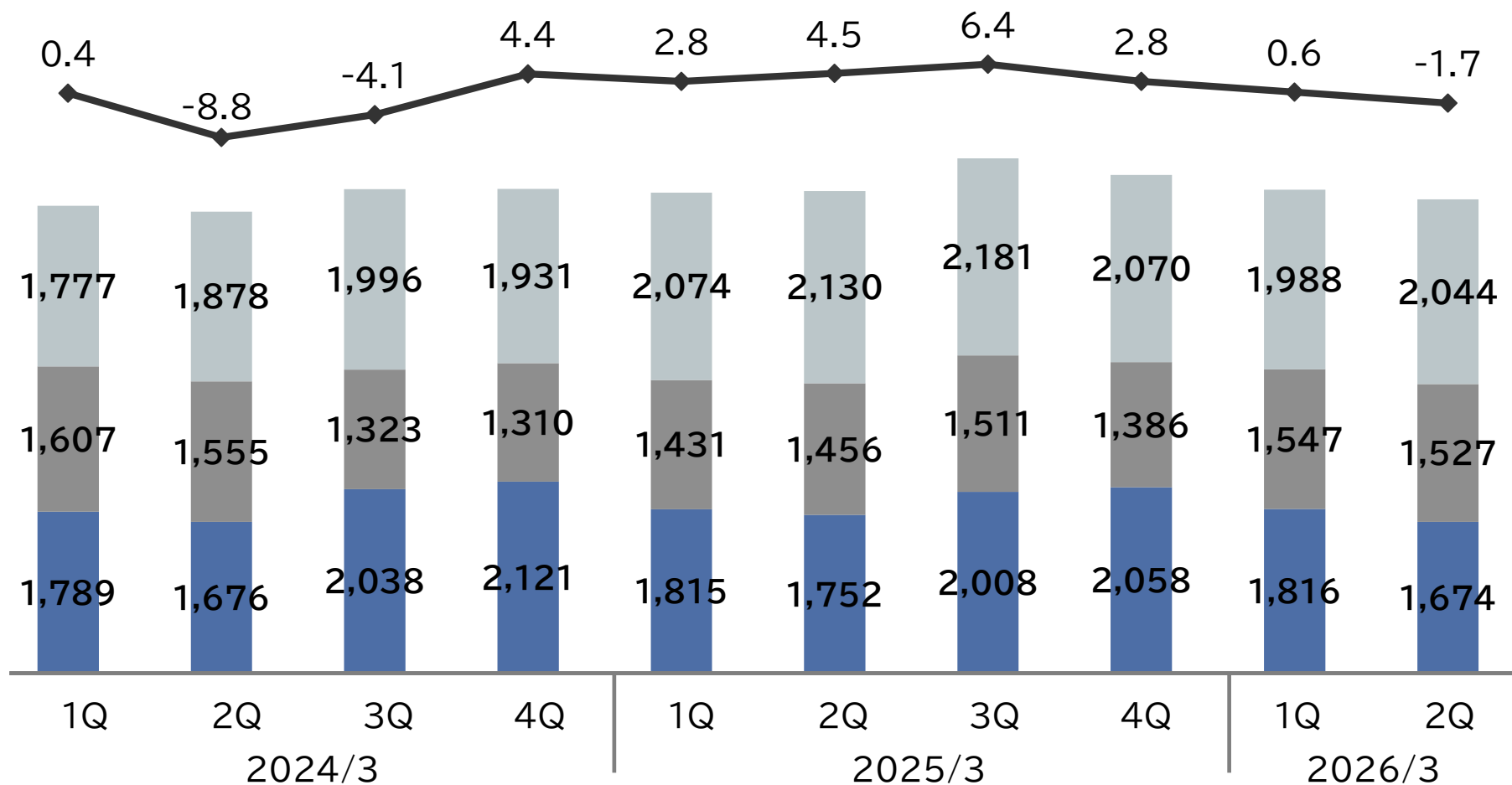
オフィス機器部門 四半期別売上高推移

12

■ 国内オフィス事業 売上高 ■ 海外オフィス事業 売上高 ■ オートステープラ事業売上高

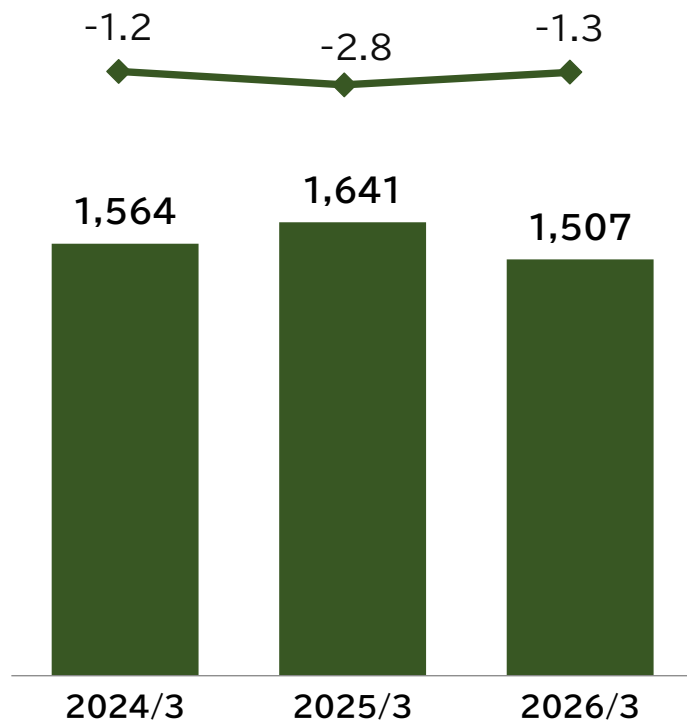
— オフィス機器部門 売上高前年同期比伸率

(単位:百万円、%)



■ HCR機器部門売上高 — セグメント利益率

(単位:百万円、%)



標準車いす
「ステイヤー」



多機能車いす
「モダンシリーズ」

HCR機器部門



新製品の拡販活動を進めたものの、レンタル需要の減少など取引先からの受注が停滞し、減収となりました。

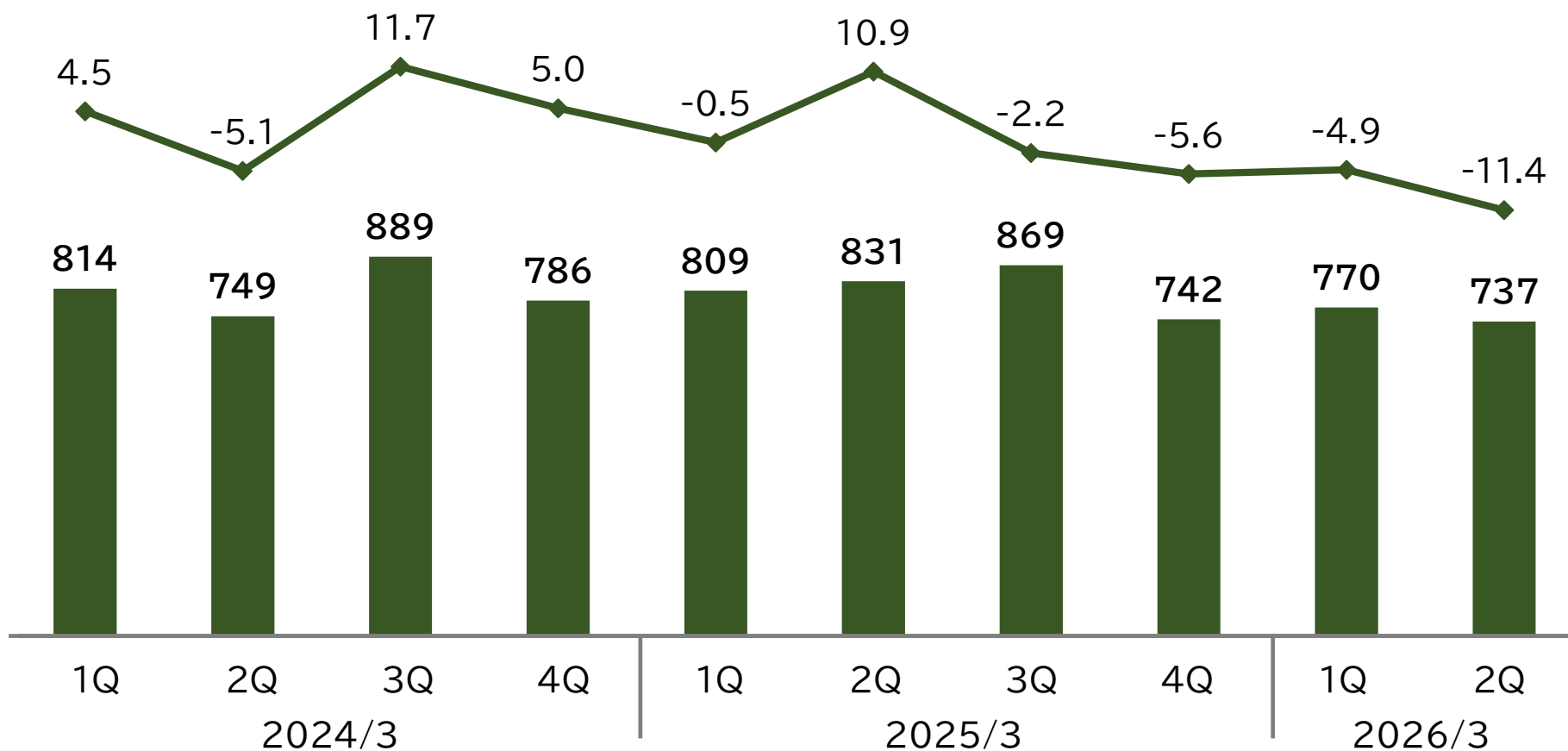
HCR機器部門 四半期別売上高推移

14

■ HCR機器部門 売上高

－ HCR機器部門 売上高前年同期比伸率

(単位:百万円、%)

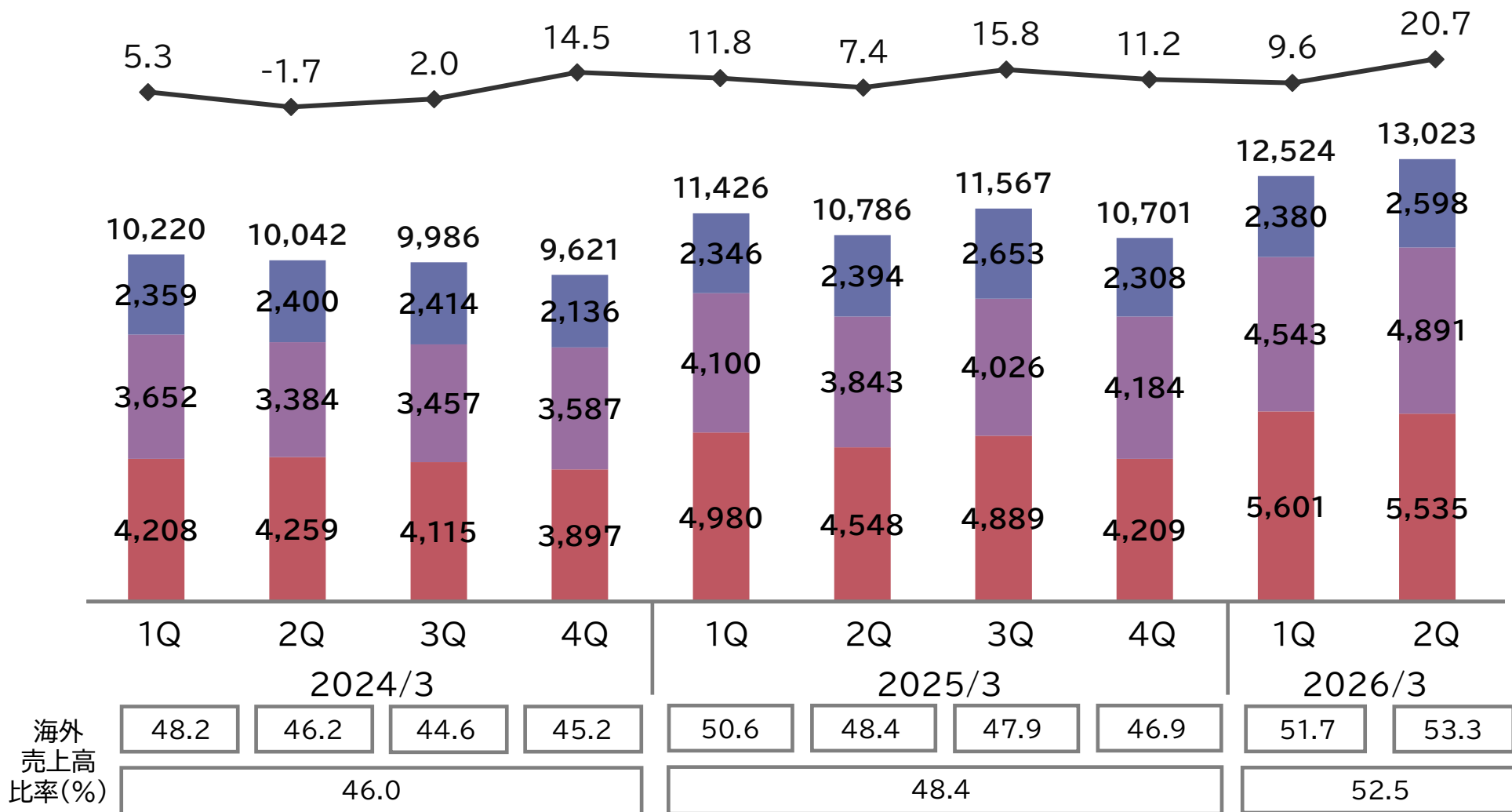


四半期別海外地域別売上高推移

15

■ 北米 売上高 ■ 欧州 売上高
■ アジア他 売上高 — 海外売上高合計 前年同期比伸率

(単位:百万円、%)



※オートステープラ事業の海外売上高も含んでおります。

鉄筋結束機事業を中心にコンクリート構造物向け工具の販売は好調に推移

・コンクリート構造物向け工具売上 **209億円**(国内31億円・海外178億円)

対前年+**19%**の伸長/年間計画に対する進捗率**58%**

欧米を中心に鉄筋結束機とその消耗品の販売が好調に推移

<海外>

〔北米〕

- ・ 第2四半期に実施した関税対応の値上げによる仮需は限定的。移民政策等の影響による建設現場の人手不足を背景として、機械・消耗品の販売が好調に推移。
- ・ 新規顧客への特大径モデルの提案による相乗効果により、他のモデルも導入が加速。

〔欧州〕

- ・ 主要エリアであるドイツや北欧でインフラ投資が回復基調となったことに加え、東欧を中心に新規顧客の開拓が進んだことで、機械と消耗品の販売が増加。
- ・ 建設現場の人手不足を背景とした省人化ニーズにより、欧州各国で実績が伸長。

<国内>

- ・ コンクリート建築物の着工床面積の減少など外部環境は厳しかったものの、上期累計では機械・消耗品ともに前年並みの実績。
- ・ 特大径モデルやメッシュ筋カッタなどの新製品の販売が堅調。

2026年3月期 業績予想

■想定為替レート(3Q以降)

1ドル 145.00円
1ユーロ 165.00円

(単位:百万円、%)

	今回計画 (2025/10/31)	前回計画 (2025/7/31)	差額	前期実績	増減率
売上高	97,700	95,200	2,500	91,839	+6.4
営業利益	17,200	15,700	1,500	14,468	+18.9
同率	17.6	16.5		15.8	
経常利益	17,500	15,800	1,700	14,809	+18.2
同率	17.9	16.6		16.1	
親会社株主に帰属する当期純利益	13,200	11,800	1,400	11,225	+17.6
同率	13.5	12.4		12.2	
1株当たり当期純利益(円)	290.90	260.12	—	241.81	
ROE	12.3	11.1	1.2P	10.9	

・ 足元の第2四半期までの業績の堅調な推移などにより、2025年7月31日に公表した予想値を上回る見込みとなりましたので、2026年3月期通期の計画を修正しました。

2026年3月期 セグメント計画

18

(単位:百万円、%)

	今回計画 (2025/10/31)	前回計画 (2025/7/31)	差額	前期実績	増減率
インダストリアル機器部門					
売上高	73,090	70,170	2,920	66,707	+9.6
セグメント利益	18,170	16,480	1,690	14,595	+24.5
セグメント利益率	24.9	23.5		21.9	
オフィス機器部門					
売上高	21,500	21,680	△180	21,878	△1.7
セグメント利益	3,820	3,940	△120	4,477	△14.7
セグメント利益率	17.8	18.2		20.5	
HCR機器部門					
売上高	3,110	3,350	△240	3,253	△4.4
セグメント利益	10	60	△50	△82	—
セグメント利益率	0.3	1.8		△2.5	
調整額	△4,800	△4,780	△20	△4,522	—
全社計					
売上高	97,700	95,200	2,500	91,839	+6.4
営業利益	17,200	15,700	1,500	14,468	+18.9
売上高営業利益率	17.6	16.5		15.8	

2026年3月期 サブセグメント(事業別)計画

(単位:百万円、%)

	今回計画 (2025/10/31)	前回計画 (2025/7/31)	差額	前期実績	増減率
インダストリアル機器部門					
セグメント売上高	73,090	70,170	2,920	66,707	+9.6
国内機工品	21,510	21,960	△450	21,227	+1.3
海外機工品	38,840	35,630	3,210	33,284	+16.7
住環境機器	12,740	12,580	160	12,195	+4.5
セグメント利益	18,170	16,480	1,690	14,595	+24.5
セグメント利益率	24.9	23.5		21.9	

	今回計画 (2025/10/31)	前回計画 (2025/7/31)	差額	前期実績	増減率
オフィス機器部門					
セグメント売上高	21,500	21,680	△180	21,878	△1.7
国内オフィス	7,650	7,730	△80	7,634	+0.2
海外オフィス	6,080	6,050	30	5,786	+5.1
オートステープラ	7,770	7,900	△130	8,456	△8.1
セグメント利益	3,820	3,940	△120	4,477	△14.7
セグメント利益率	17.8	18.2		20.5	

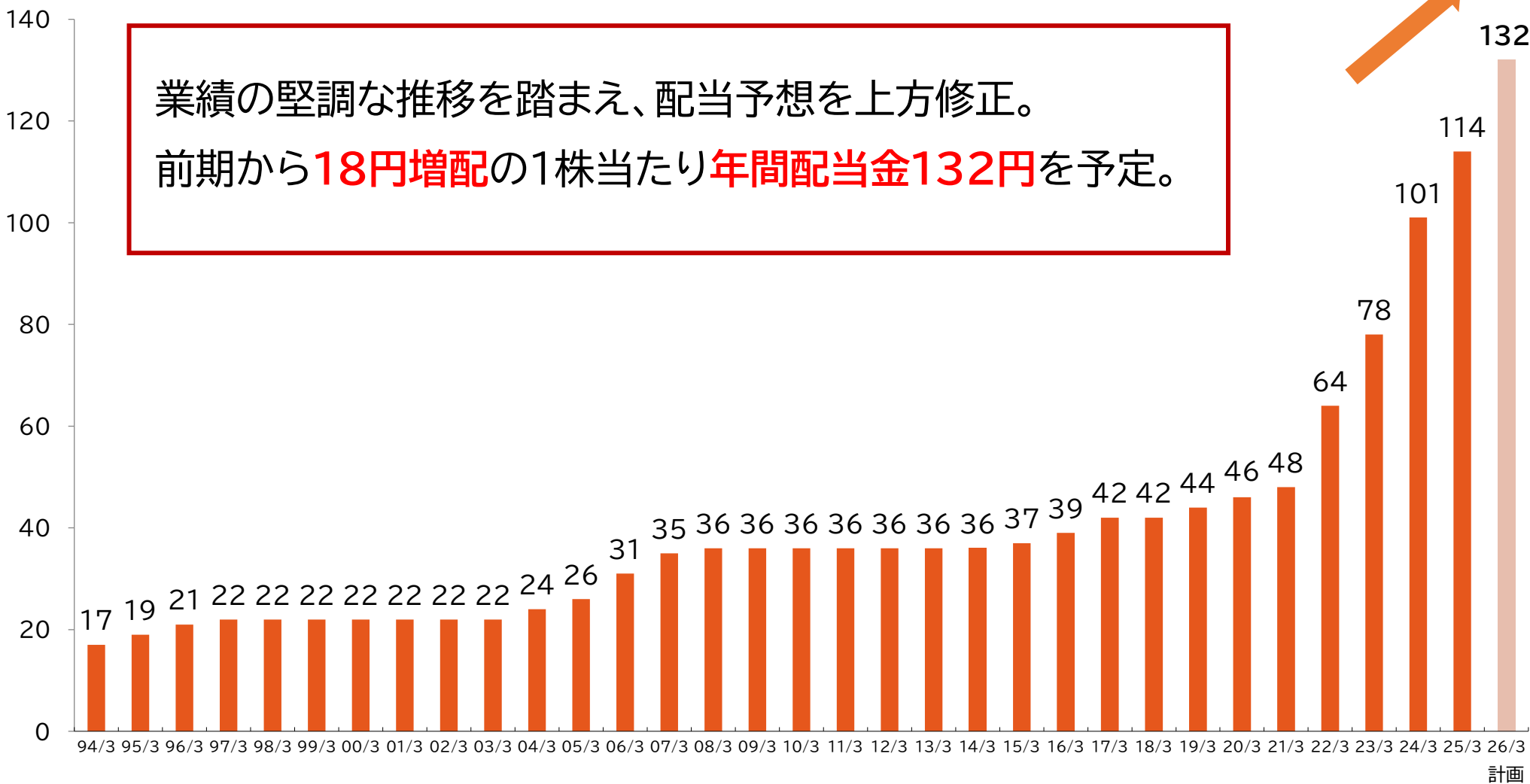
配当政策 1株当たり配当金

20

(単位:円)

業績の堅調な推移を踏まえ、配当予想を上方修正。

前期から**18円増配**の1株当たり**年間配当金132円**を予定。

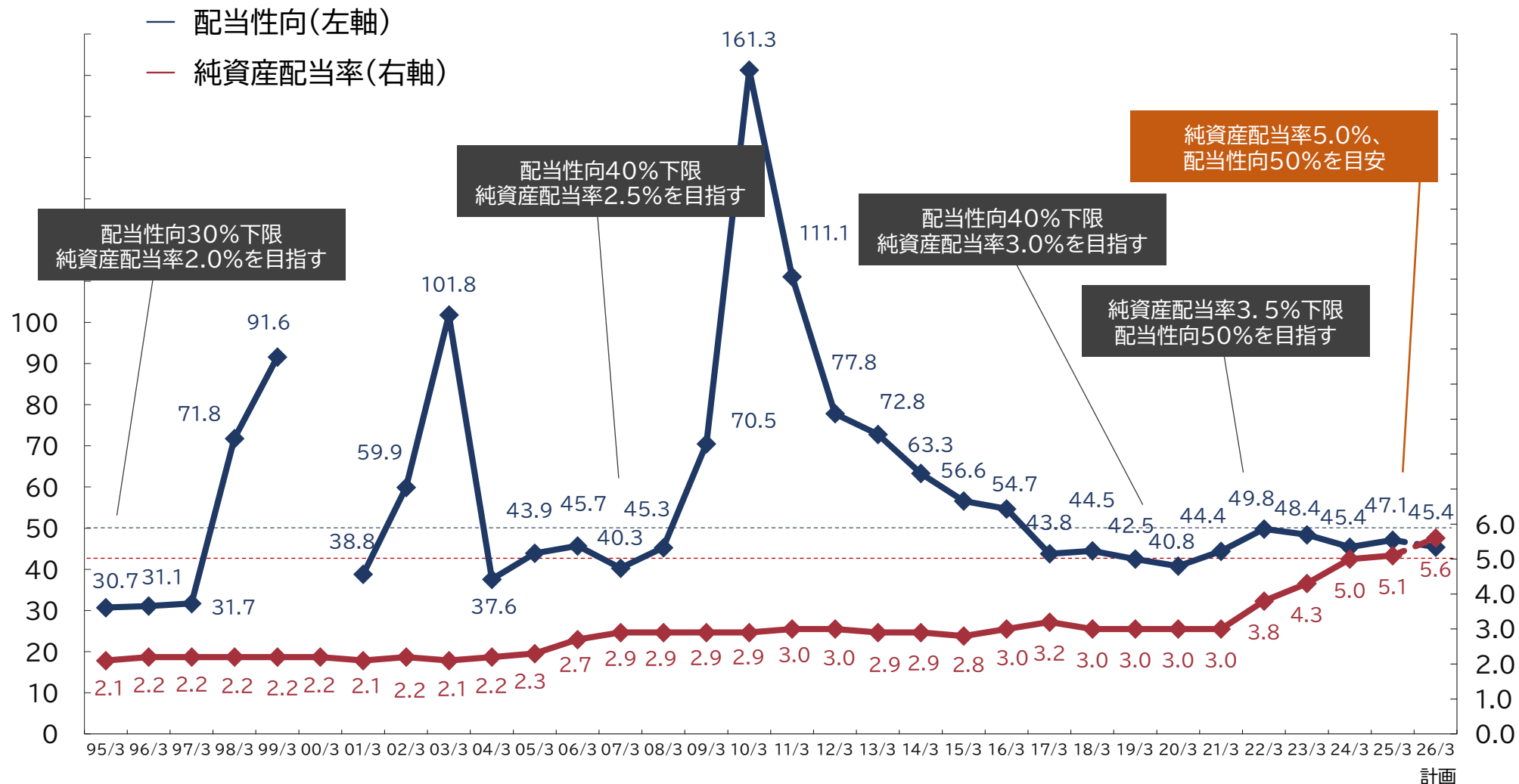


配当政策 配当性向と純資産配当率

21

連結決算を基準に、「純資産配当率5.0%、配当性向50%を目安とする」

(単位:%)



※2005年3月期までは単独ベースです。

統合報告書2025を発行しました

ステークホルダーの皆さまに当社グループに対する理解をより深めていただくため、統合報告書2025を発行しました。

主なトピック

研究開発中: 自律移動結束ロボットの開発秘話

当社は、「世の中に新しい価値を提供し続ける」ために、現場の事実から顧客の真のニーズをつかみ、解決に向けて取り組むことで、独創的な技術を生み出してきました。これまでの当社にはなかった高知能化技術を取り入れた、自律移動結束ロボットの開発秘話をインタビュー形式で紹介しています。

事業を通じた社会課題の解決

当社は、社会課題の解決に向けた製品・サービスの開発や、気候変動への対応を含む環境負荷低減の取り組みを推進しています。これらの取り組みの一部として、鉄筋結束機「ツインタイヤ」による鉄使用量の削減、吉井拠点での緑地整備の活動などを紹介しています。

「統合報告書2025」は当社Webサイトをご覧ください。

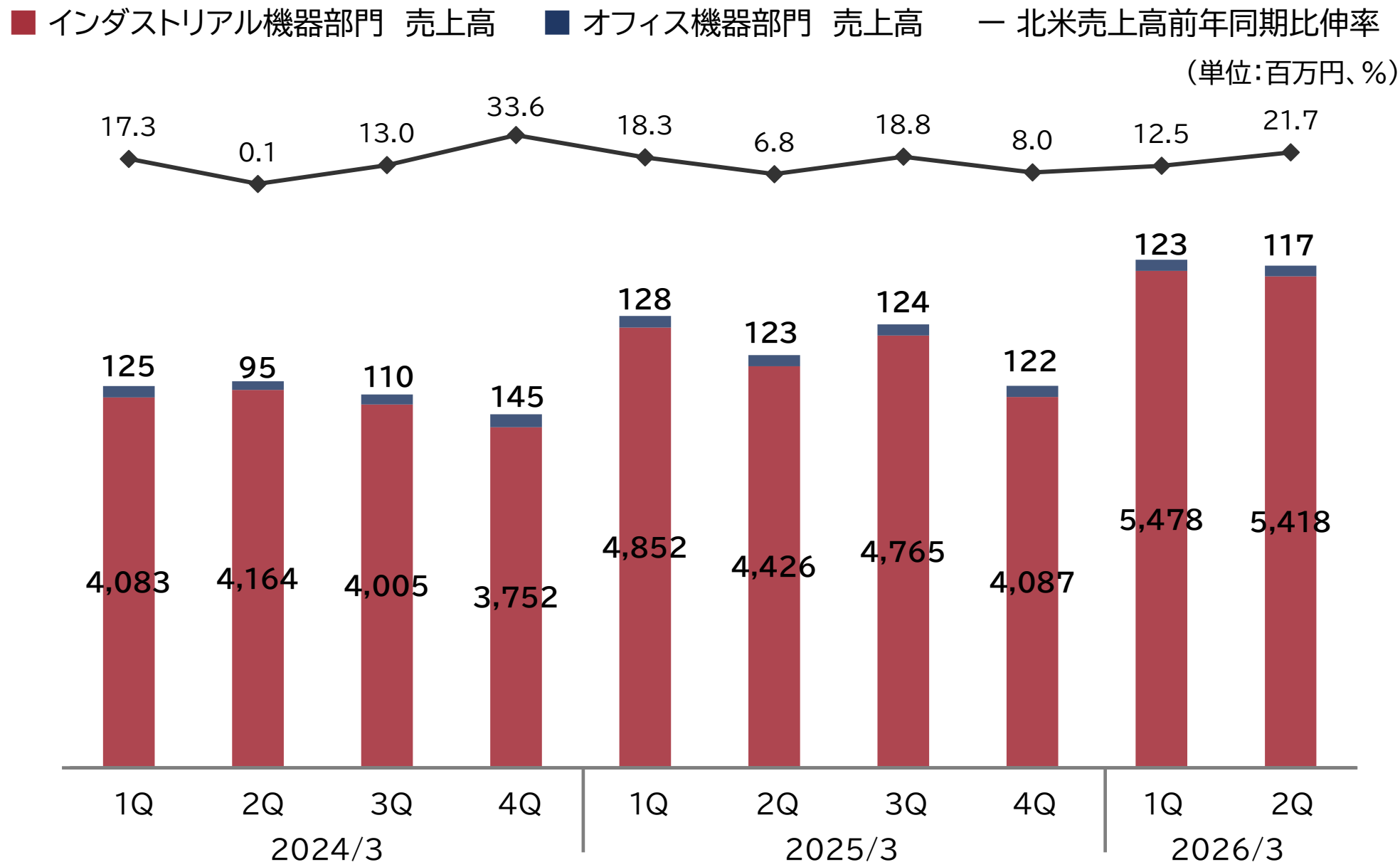
<https://www.max-ltd.co.jp/about/ir/data/integrated/>



參考資料

四半期別海外地域別セグメント売上高推移(北米)

23

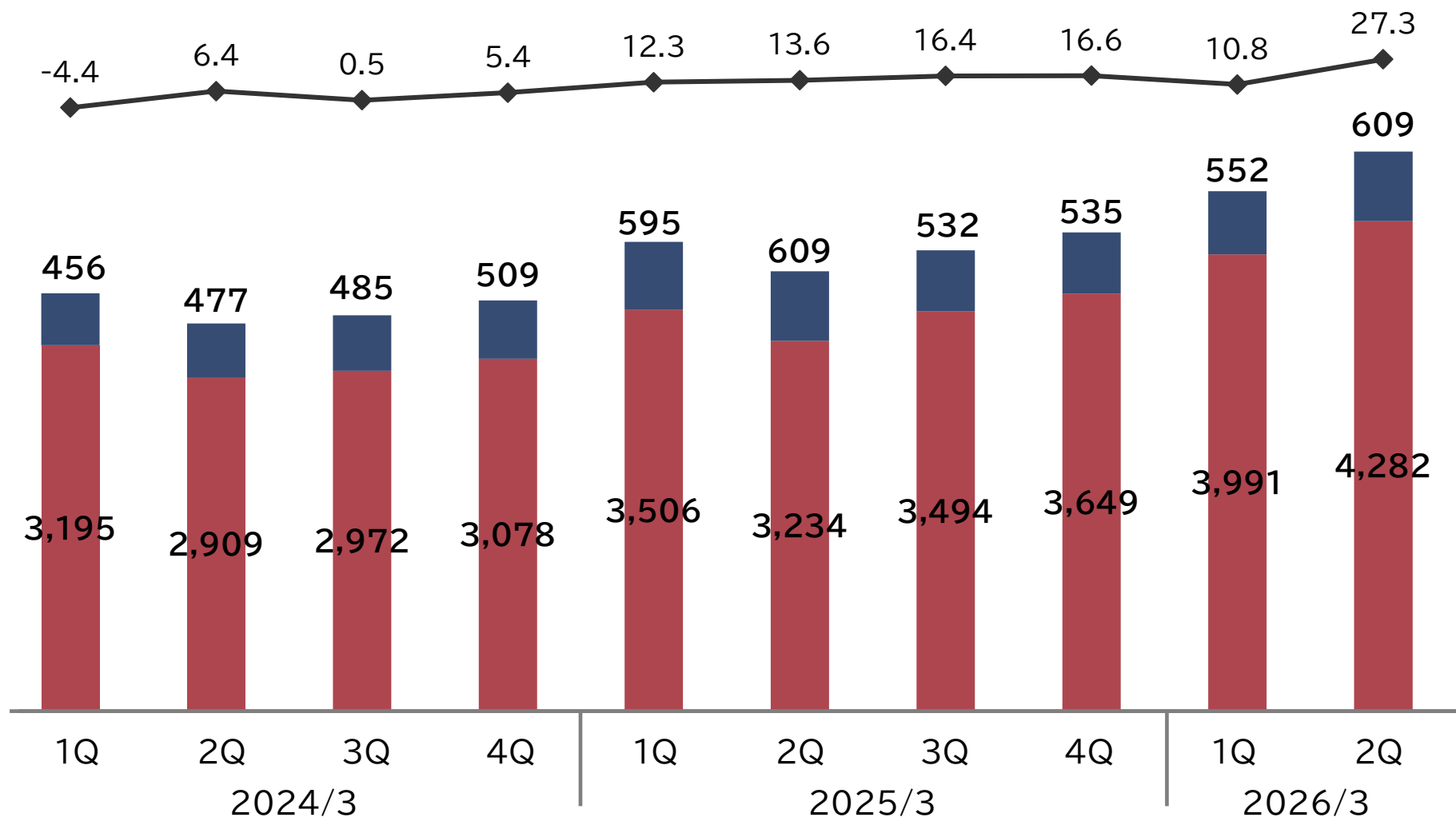


四半期別海外地域別セグメント売上高推移(欧州)

24

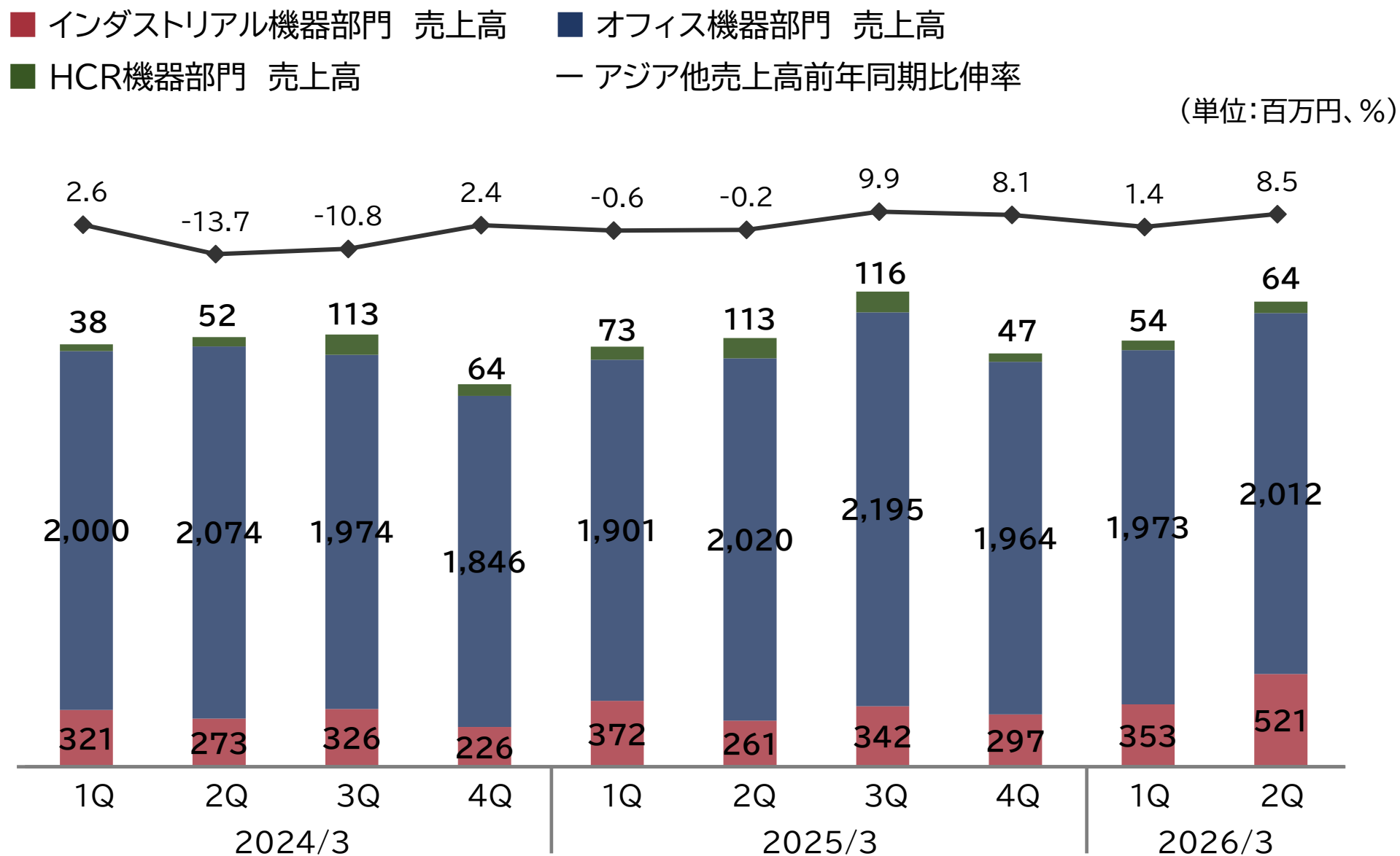
■ インダストリアル機器部門 売上高 ■ オフィス機器部門 売上高 — 欧州売上高前年同期比伸率

(単位:百万円、%)



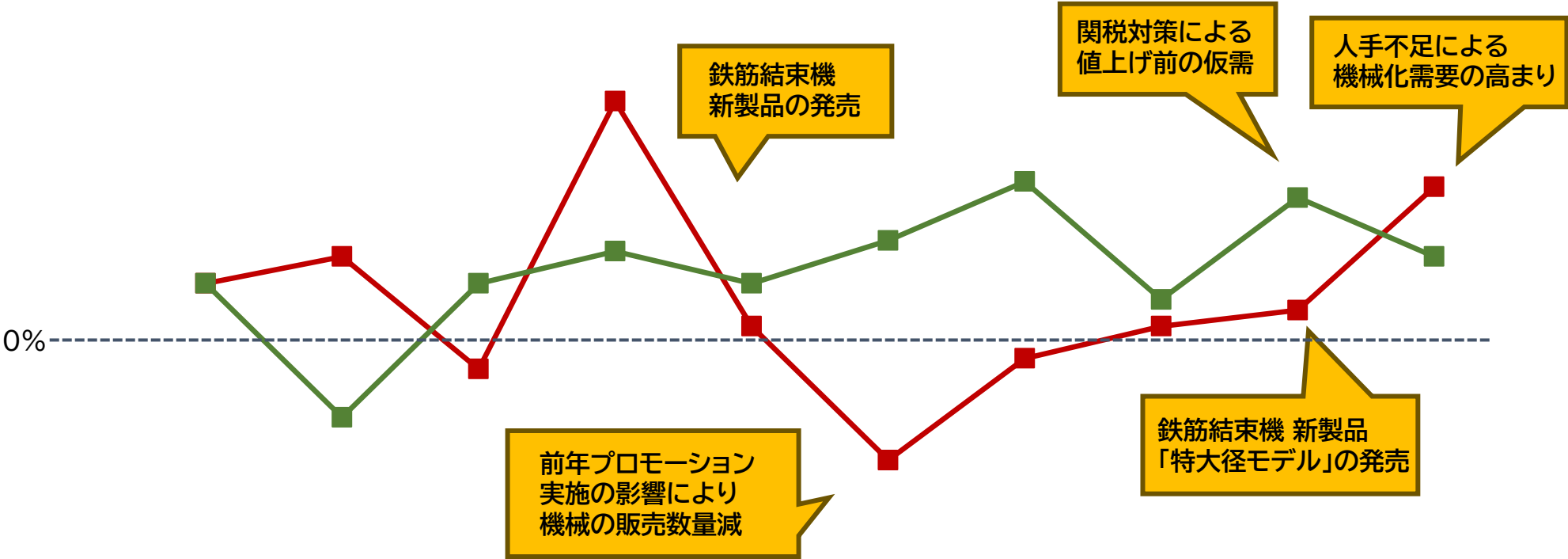
四半期別海外地域別セグメント売上高推移(アジア他)

25



鉄筋結束機(機械・消耗品) 四半期別数量推移(北米)

■ 機械 数量前年同期比伸率 ■ 消耗品 数量前年同期比伸率



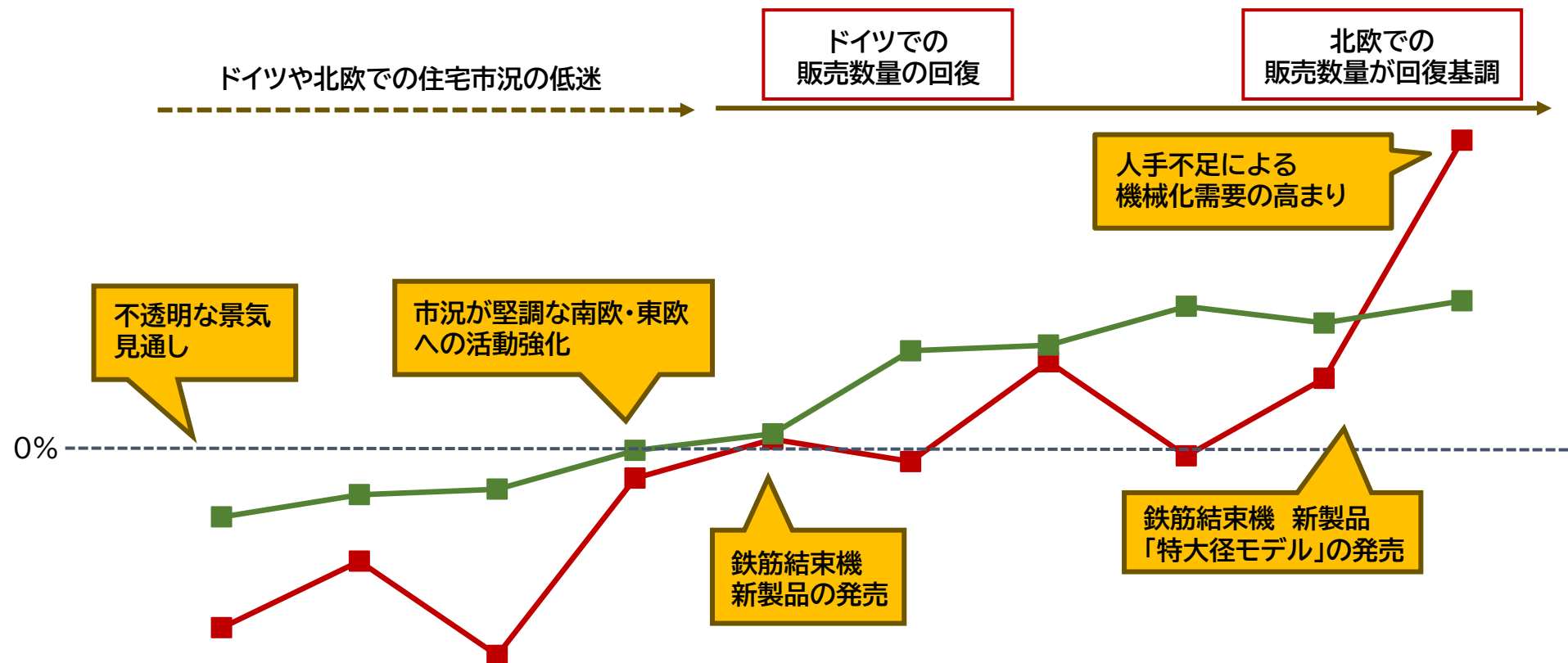
北米	2024/3				2025/3				2026/3	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
機械	11%	16%	-5%	45%	3%	-22%	-3%	3%	6%	29%
消耗品	11%	-14%	11%	17%	11%	19%	30%	8%	27%	16%

鉄筋結束機(機械・消耗品) 四半期別数量推移(欧州)

27

■ 機械 数量前年同期比伸率

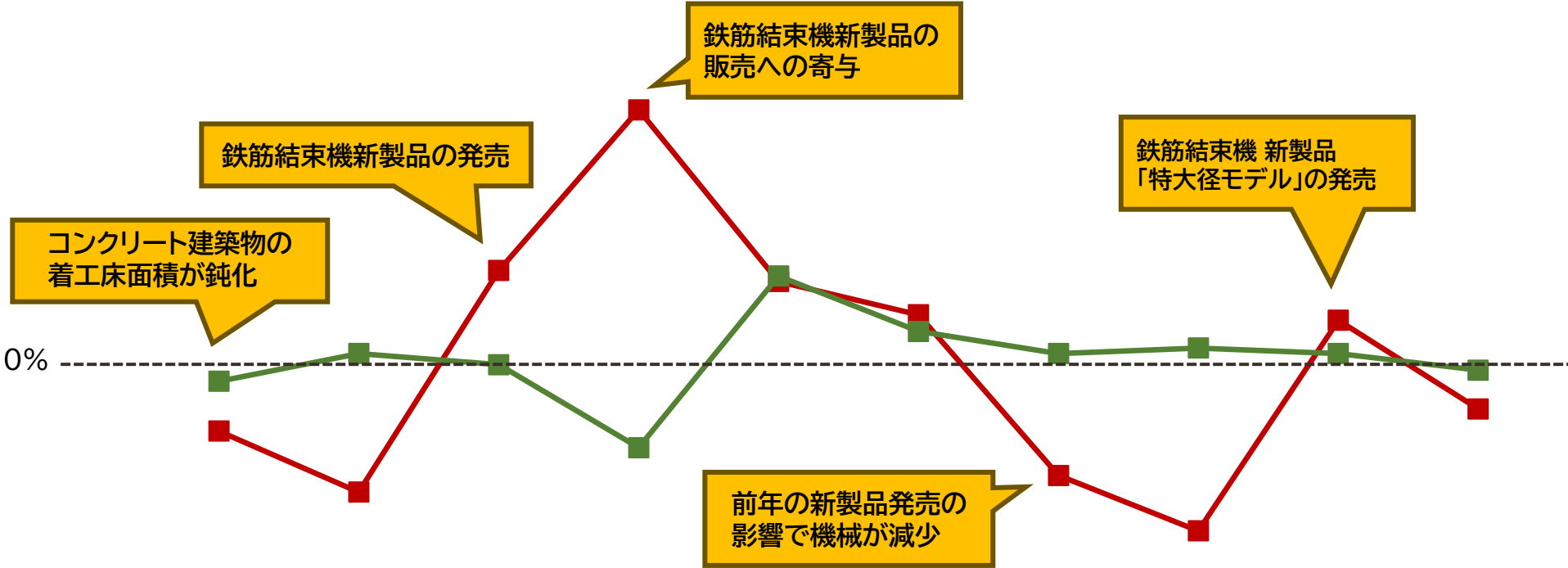
■ 消耗品 数量前年同期比伸率



欧州	2024/3				2025/3				2026/3	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
機械	-32%	-20%	-37%	-5%	2%	-2%	16%	-1%	13%	56%
消耗品	-12%	-8%	-7%	0%	3%	18%	19%	26%	23%	27%

鉄筋結束機(機械・消耗品) 四半期別数量推移(国内)

■ 機械 数量前年同期比伸率 ■ 消耗品 数量前年同期比伸率



国内	2024/3				2025/3				2026/3	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
機械	-12%	-23%	17%	46%	15%	9%	-20%	-30%	8%	-8%
消耗品	-3%	2%	0%	-15%	16%	6%	2%	3%	2%	-1%

機工品事業

木造建築物向け工具

釘打機



エアコンプレッサ



充電工具



コンクリート構造物向け工具

鉄筋結束機
「ツインティア」



コンクリートネイラ



ガスネイラ



AF(農業・食品)

園芸用誘引結束機



袋とじ機



オフィス事業

文具関連製品

ホッチキス



パンチ



スタンプ他



文字表示機器

表示作成機
「ビーポップ」



チューブマーカー
「レタツイン」



食品表示用
ラベルプリンタ



その他

タイムレコーダ



筆耕



充電式鉄筋結束機「TWINTIER」シリーズ

〈機械〉※国内での発売年を記載しています。



スタンダードモデル
2023年発売
(フルモデルチェンジ)



大径モデル
2025年発売
(フルモデルチェンジ)



特大径モデル
2025年発売

小 ————— 大
対象鉄筋径

〈消耗品〉



専用結束ワイヤ「タイワイヤ」



IoTモデル
2024年発売

・GPS機能搭載



ウォーカーモデル
2020年発売

・腰への負担軽減

〈生産拠点〉

機械

国内・海外向け共に玉村工場(群馬県)

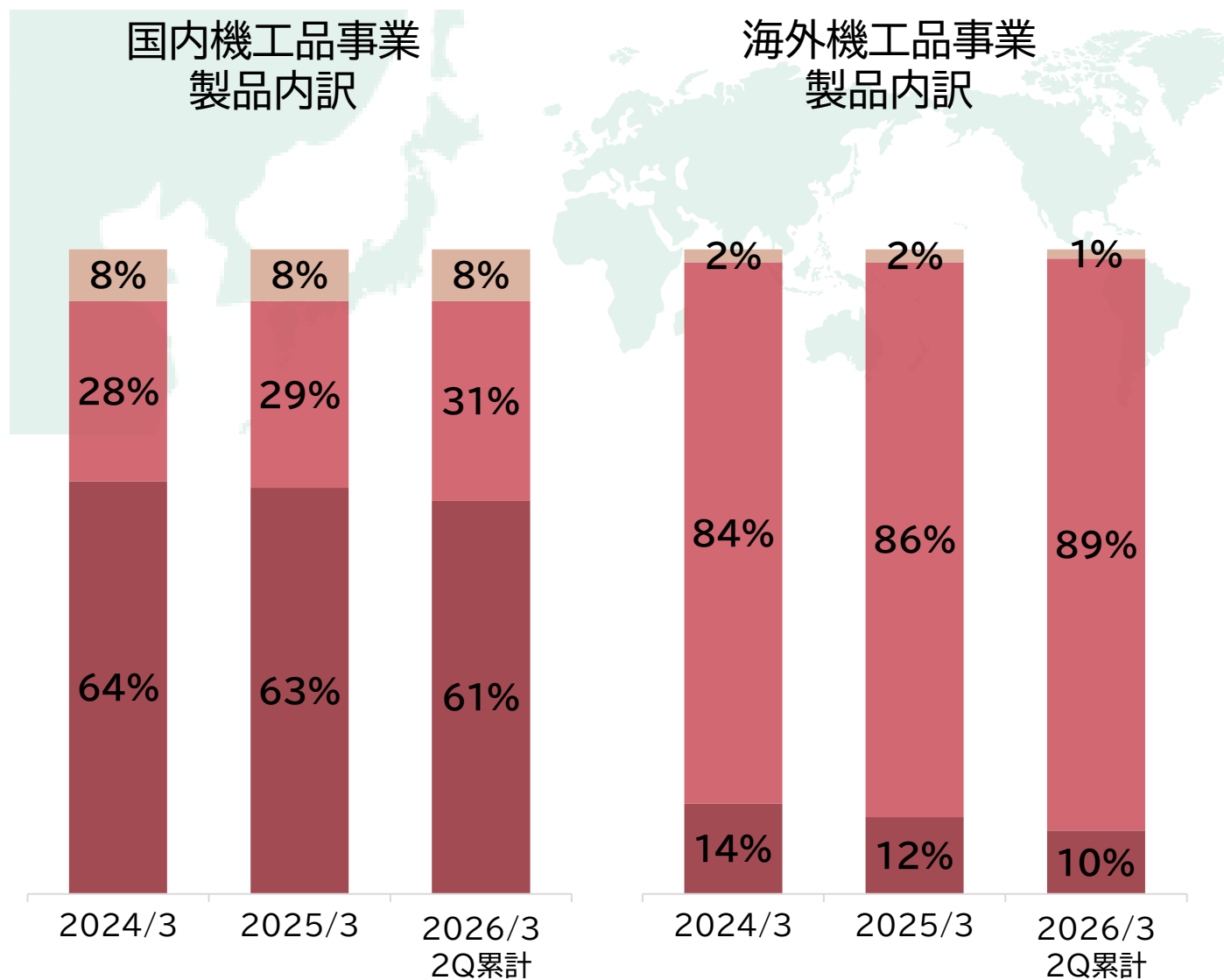
消耗品

国内向け 藤岡工場(群馬県)

海外向け タイ工場

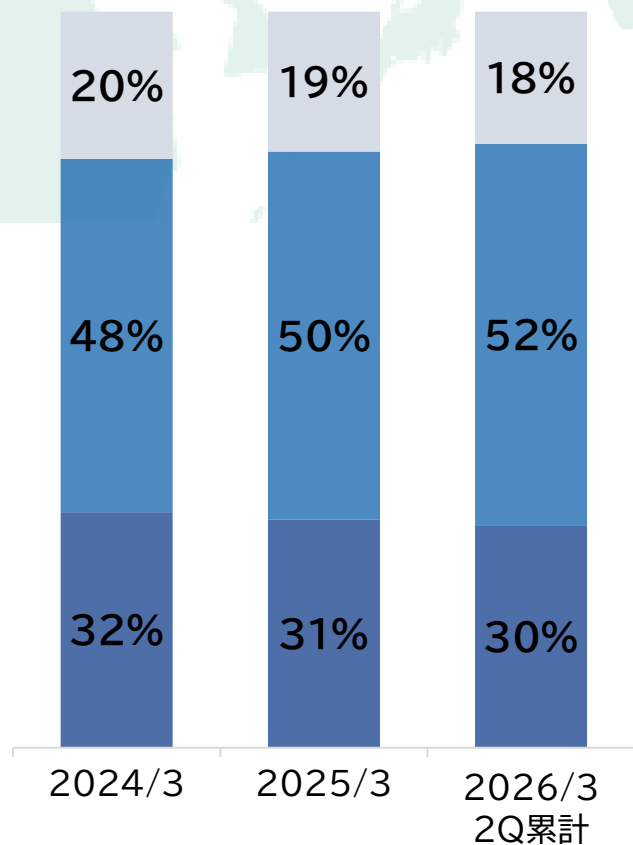
国内・海外機工品事業製品内訳

31

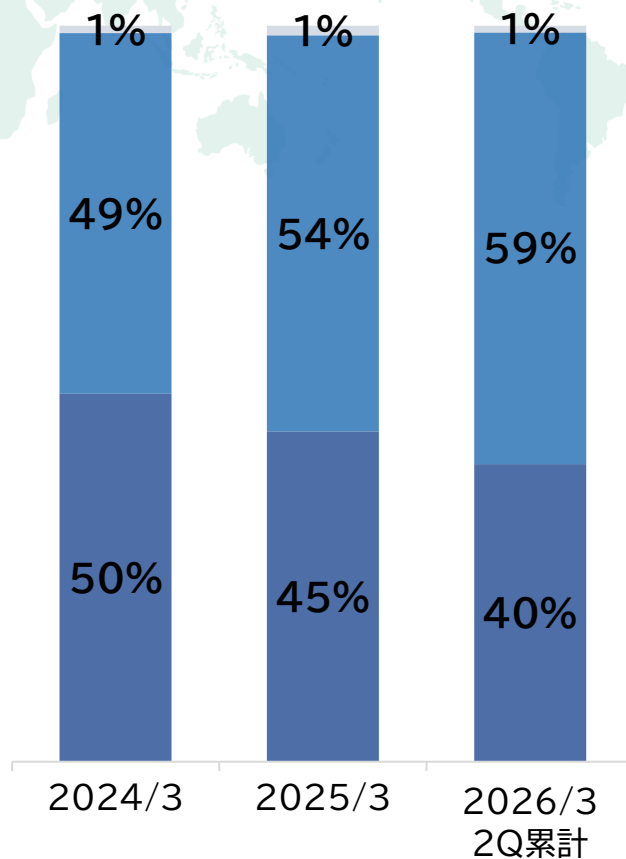


- AF(農業・食品)
- コンクリート構造物向け工具
- 木造建築物向け工具

国内オフィス事業
製品内訳



海外オフィス事業
製品内訳



- その他
- 文字表示機器
- 文具関連製品



本資料に記載されている内容は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。あらかじめご承知おきください。